

京都大学の取り組み

2006-2009

【パネルディスカッション資料】



管理・運営

- 理事・副理事・理事補の本部体制の整備
- 拡大役員懇談会・役員戦略会議の設置
- 外部戦略室・総長室の設置
- 重点事業アクションプランの策定
- 若手教職員による未来戦略検討WGの設置
- 部局長、事務職員との懇談会開催
- 定例記者会見の開始
- IC認証カードの導入
- リスク管理・ガバナンス機能の強化
 - 法務・人権推進室、物品納入検収所、競争的資金の不正防止室、リスク管理担当課、安全保障管理室など
- 工学研究科物理系の桂移転のPFI事業開始
- 農学研究科高槻農場の京阪奈地区への移転決定



京都大学を取り巻く様々な課題に速やかに対応し、中期目標期間における計画を実現するとともに、京都大学の使命を学内外に果たしていくために**重点事業アクションプラン**を策定し実行。

アクションプランの実行に当たっては、大学のトップマネジメントの強化を図り、京都大学の戦略的経費である「全学経費」、「重点戦略経費」のほか、各年度ごとの経営努力により得た資金などを活用し、教育推進事業、研究推進事業、学生支援事業などの分野に重点的に投資。

研究・産学連携

- 若手研究者支援資金(スタートアップ・ステップアップ等)制度の創設
- 白眉プロジェクト**;若手人材の発掘・育成
- 最先端研究の推進と支援体制の整備・充実
WPI(iCeMS)、先端医療スーパー特区、グローバルCOE
世界最先端研究などの採択と**研究戦略室**の設置
- iPS細胞研究所**の設置(2010.4～)
- 革新的蓄電池開発研究**の推進
- iPSアカデミアジャパンの設置(iPS知財活用事業)
- 産学連携イノベーション拠点2棟(宇治・病院地区)
- 地域(府・市)との連携による京都未来を担う人づくり事業



教育・学生支援

- 全学共通教育の強化
- 全国にて大学入試説明会開催(17回)
- Home Coming Dayの強化
- 課外活動棟(学生ボックス)の整備
- 体育会器具等の更新支援
- 学生寮の整備計画
- 授業料免除割合の増加**
- 研究科横断型教育プログラム**

授業料免除割合の増加

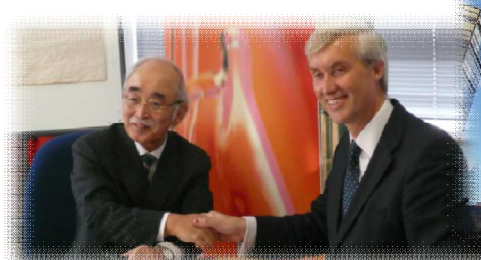
	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
免除額	7.0億円	7.1億円	7.6億円	7.4億円	8.2億円(予定)
免除者数	3,599人	3,632人	4,246人	4,640人	5,000人以上 (見込み)

外部戦略・社会連携・国際

- 各地同窓会 (国内外) の積極的開催
(海外同窓会組織)：中国、韓国、アメリカ、インドネシア、タイ ほか
- 東京オフィスの開設
- 産官学連携本部欧州事務所 (ロンドン) の開設
- AEARL (議長) / APRU (運営委員) / G8
- G30：国際化拠点整備事業 (KUPROFILE)
- 海外大学との連携・交流協定
米国：NIH・スタンフォード大学・UCLA・CALTEC
ハーバード大学 ほか
英国：オックスフォード大学・ブリストル大学
中国：浙江大学・復旦大学
台湾：台湾中央大学・台南大学
韓国：POSTEC/釜山大学
イタリア：G8大学サミット出席



京大欧州事務所所在地
(Katharine's Way, London)



英国ブリストル大との協力関係の構築
(2008年10月10日)



京都大学東京オフィス (品川)

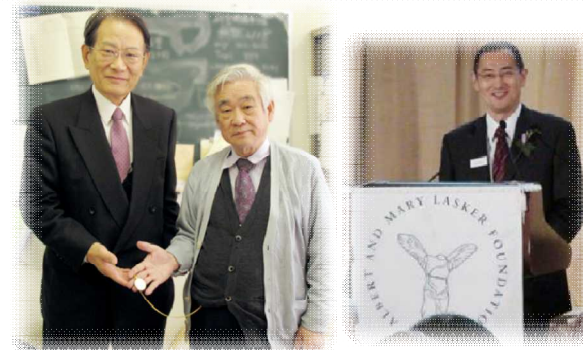
施設関係

- 宇治おうばくプラザ
- 国際物理研究棟(益川ホール)
- 大型研究設備の整備および耐震改修
- 京大会館・楽友会館の整備着手
- 寄附による施設整備(病院積貞棟、船井講堂、稲盛財団記念館 ほか)
- 図書館学習室の24時間利用可能化



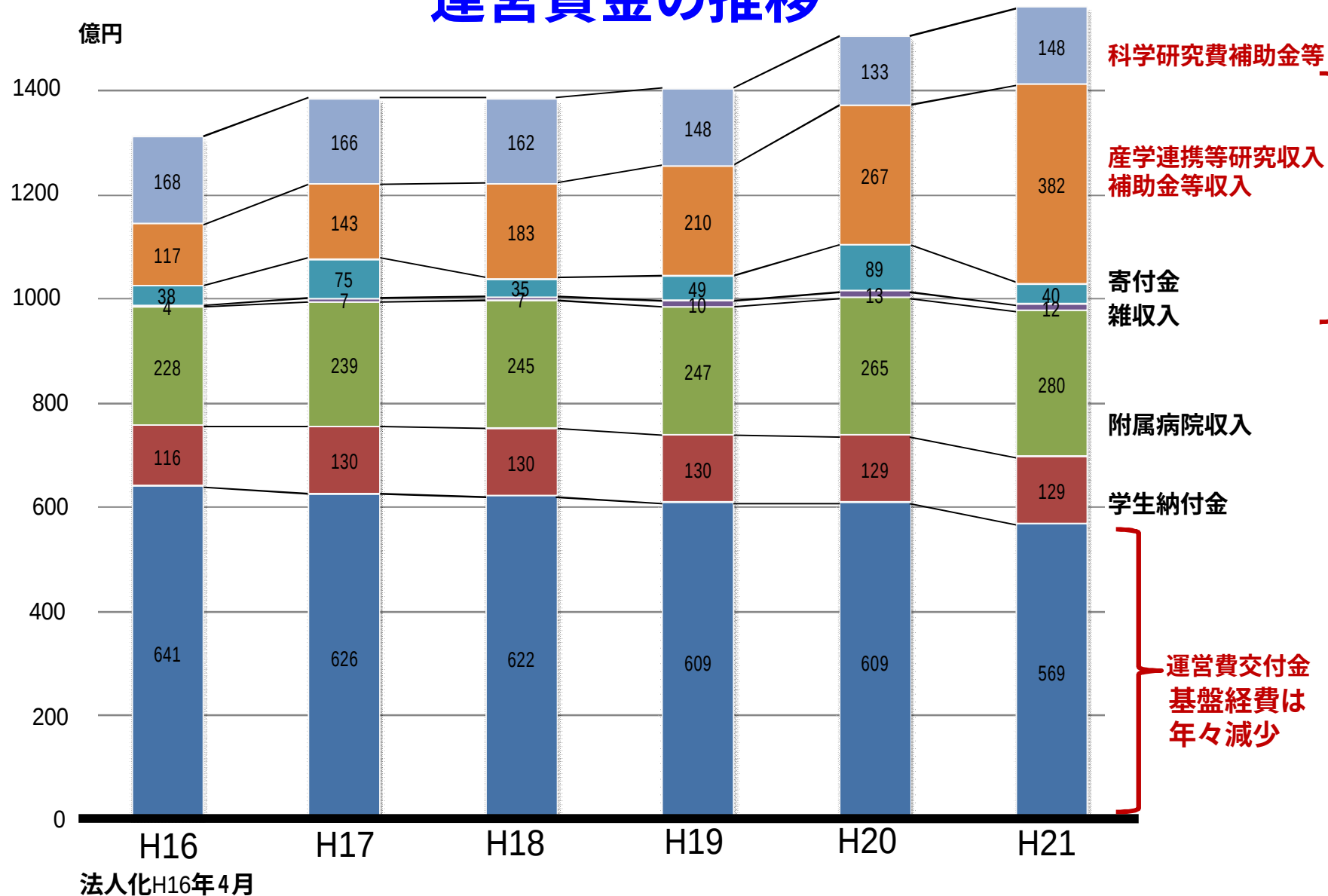
栄誉

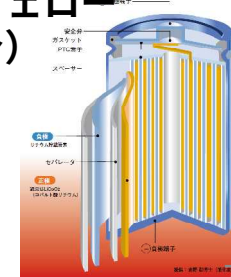
- 益川・小林両名誉教授のノーベル賞受賞
- 伊藤名誉教授; ガウス賞受賞
- 山中伸弥教授; ラスカー賞・ガードナー賞受賞など
- 文化勲章; 3名、文化功労賞; 3名、
日本学士院賞; 10名、紫綬褒章; 13名
- アラン・ケイ博士などに名誉博士号の授与
- 女性研究者への顕彰制度として「たちばな賞」を創設



財 務

運営資金の推移





研究ピックアップ

ライフ・イノベーション

世界と勝負する「**iPS関連研究**」も、**萌芽的な研究に対する比較的少額な** (100万円オーダー) の研究資金援助から始まった。そして実用化にはさらなる支援が必要不可欠。

